



県議会報告

2013年10月号

平成25年9月定例会は9月18日から10月4日まで開催されました。質問時間が45分から30分に短縮されましたが、時間をフルに使います。こうした県の姿勢に対し、傍聴の方からも厳しい声が出ています。

基地問題について

質問 8月に米国でオスプレイが緊急着陸し炎上するという重大事故が起こりました。安全性が確認されるまで、飛行中止を求めざるべきではないでしょうか。

答弁 「乗組員が無事に脱出し、ホワイトハウスでも継続使用されている」などの米側情報をもとに、安全性の問題はないという政府の認識が示されており、直ちに飛行中止を求めるとは考えていません。

上関原発の埋立延長について

質問 上関原発の埋立免許延長申請について審査を先延ばしにするのは「ノー」という選択肢が初めからなく、国のエネルギー政策が変わるのを待つというシナリオでしょうか。

答弁 国は原発ゼロを可能とする具体的な政策もなく、その方針を見直す流れになってきたこともあり、

農業問題について

会社の言う国のエネルギー政策への位置付けを確認する必要がありますと考えています。そのため審査期間を1年延長し、適正な審査をしています。

質問 7月末の豪雨被害のうち農業関係について、具体的な取り組みと対策費をお示し下さい。また、有害鳥獣に対する抜本的対策についてもお聞きします。

答弁 農林事務所において、相談窓口を設け、激甚災害法の適用要請などを行いました。復旧のため31億円の補正予算を計上しています。有害鳥獣については、捕獲だけでなく集落環境調査や研修会などで積極的に支援しています。



周防大島高校の「福祉科」の廃止について

質問 岩国からの入学者も多く人気の高い周防大島高校の福祉科を廃止することは、子供たちの夢を奪い、高校と地域の衰退につながるのではないかと心配です。再検討をお考えはしないでしょうか。

答弁 2度の法改正により、介護福祉士の受験のための専門教科の時間が大幅に増加し、高校生に求められる幅広い教育を行うことが難しくなりましたので、福祉科を廃止することにしました。

土木委員会の視察

議会TOPIC

見えない力



*上関原発の埋立延長を県が許可するのを無理やり延ばしたり、
*周防大島高校の福祉科という人気学科をなくしてしまうこと、
*中山川ダムの水を周南工業地帯へ融通することなど、
議会や委員会で質問すればするほど、
“目に見えない神の声”が
県の政策に影響を与えているのではないかと、
疑問を深めた議会でした。
そんな力を発揮する議員が、エライ議員なのではないでしょうか。

- 1 8月12日に7月末の豪雨被害地（萩、山口）を視察。一般質問で復旧の促進状況を質しました。
- 2 8月末には富山、岐阜県などで道路や街づくりなどを視察、今後の活動の参考になりました。

